

平成 20 年（2008 年）のニセコの火山活動

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○2008 年の活動概況

・火口や噴気の状況（図 1～4）

3月7日、6月18日に北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。

ニセコアンヌプリ、イワオヌプリ（硫黄山）山頂部や五色温泉付近では噴気は認められず、赤外熱映像装置¹⁾による観測でも地熱域は認められませんでした。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

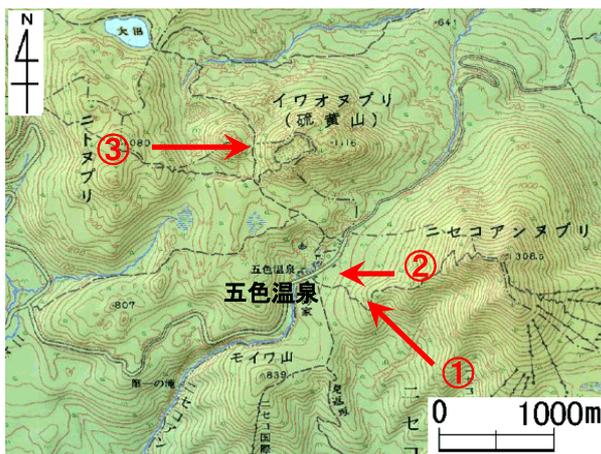


図 1 ニセコ 周辺図



図 2 ニセコ イワオヌプリ山頂付近の状況
(2008年6月18日 図1の①方向上空より撮影)

この資料は札幌管区气象台のホームページ (<http://www.sapporo-jma.go.jp>) や気象庁のホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』『数値地図 50000(地図画像)』を使用しています。(承認番号 平20業使、第385号)

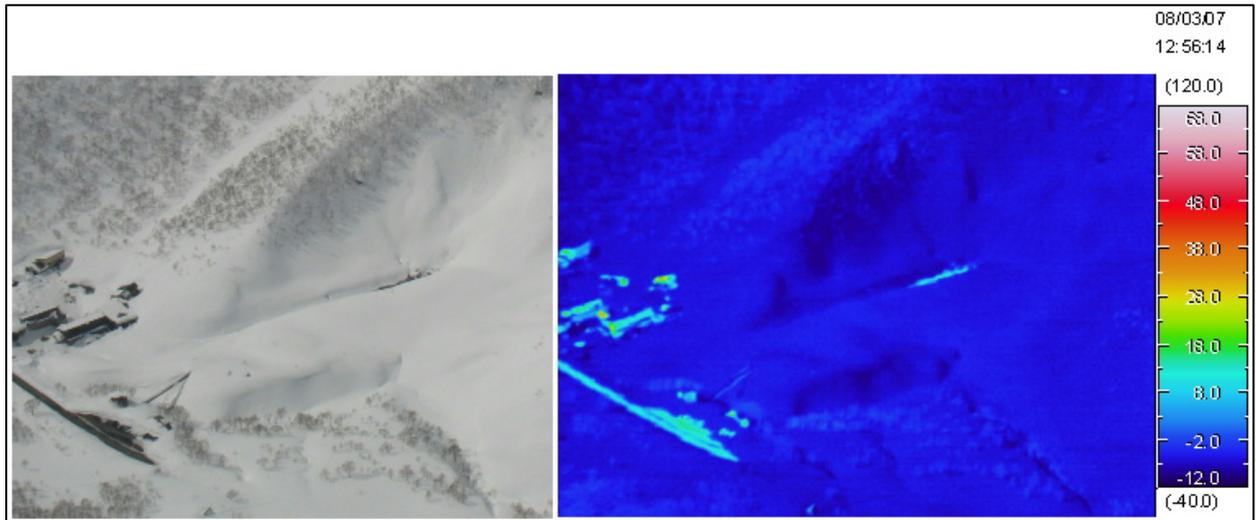


図 3 ニセコ 赤外熱映像装置¹⁾による五色温泉付近の地表面温度分布
(2008 年 3 月 7 日 図 2 の②方向上空より撮影)

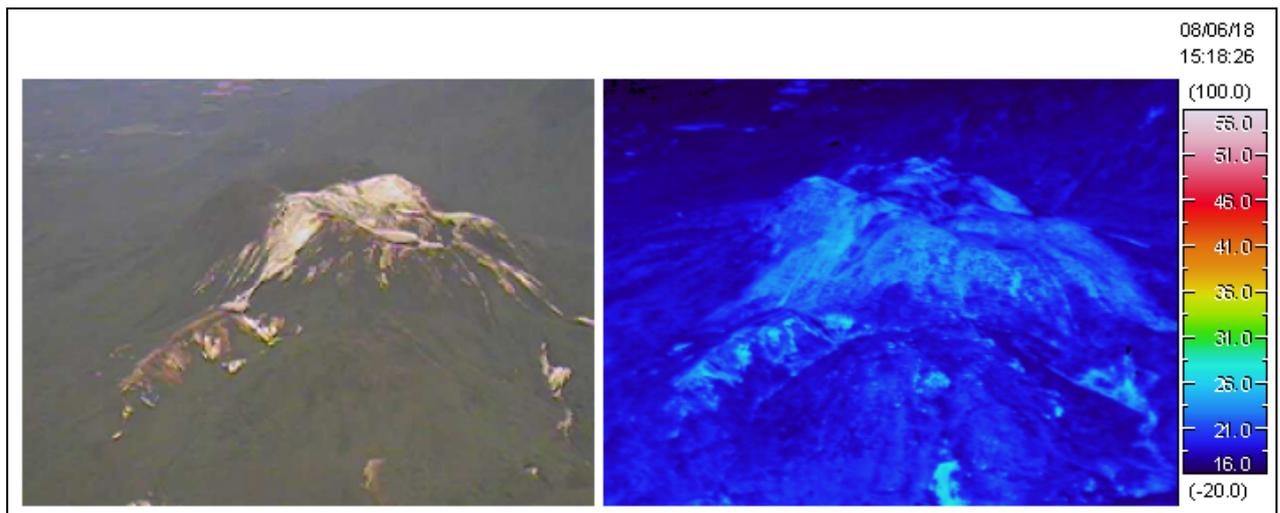


図 4 ニセコ 赤外熱映像装置¹⁾によるイワオヌプリ山頂付近の地表面温度分布
(2008 年 6 月 18 日 図 1 の③方向上空より撮影)